大正九年三月一日發行　大正九年二月二十六日印刷納本　（每月一回一日發行）　明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

女子青年界

第十七巻　三月號

目次



大正九年三月號

女子青年界目次

第十七卷第三號

THE HOSPITAL PHARMACY.

GINZA. TOKYO.

TELEPHONE SHIMBASHI 2334



◎歐文和文處方調劑
◎歐米有名賣藥各種
◎舶來化粧品各種
◎醫療器械各種
◎舶來滋養品各種

東京京橋區銀座尾張町一丁目一番地

銀座藥品部

（舊聖路加藥品部）

電話新橋二千三百三十四番

弊店は正確誠實迅速を旨とし凡て責任を以て販賣致し候間何卒御用被仰付度候

生徒募集

女子學院

一年級　六十名　入學試驗　三月卅日

各級　補欠若干名　但し五年を除く

出願期日　三月十五日迄

寄宿希望者は至急申込れ度し

東京麹町區上二番町

生徒募集

一　高等女學科第一年　三十名

一　同　第二、三年　若干名

一　出願期三月末日限　試驗四月五日

仙臺市中島町

文部大臣指定

尚絅女學校

東京女子大學

生徒募集

●入學願書受付期日三月十日迄

●入學試驗三月二十九日

●入學志望者心得書及入學願書用紙は郵券貳錢封入

●豫科約五十名

●本科及選科各若干名

（東京市外淀橋町角筈一〇〇）

女子青年界

第十七巻

第叅號

一切の生物のいのちおよび一切の
ひとの靈魂ともに神の手の中にあり。
（ヨブ記一二ノ一〇）

人の心には多くの計畫あり、されど
たゞエホバの旨のみたつべし。
（シンゲン一九ノ二一）

會說

前途は洋々たり

河井道子

女學校でよく學びます英詩の中にロングフエローの「處女」といふのがございませう。詩人は溪流が河に流れ込む所に處女を立たして、恰も彼女は目前に展開して居る世界の舞臺に出んとする時のやうであると、溪流と處女とを比較して歌つて居ります。此詩は若き婦人の種々な希望や期待を如何にも美はしく書いて、其靜かな暖き春霞の向ふに、或は危險な野獸が居らぬとも限らないと、警告して居ります。然し彼は又處女に向ひ云ふに「汝の手に白百合をとれ、此力には鐵門も抗する事を得ず、永久に青年の心をもち、口に眞理の微笑をたゝへ、悲痛、邪惡、苦痛の道を行けよ、かくせば其汝の微笑は神の微笑となり、汝の若き氣力は總ての傷を癒し得ん」と。

此雅しい詩を讀む度に、いつも聯想されるのは、新しい境遇に入らんとする若き姉妹方の身の上であります。學校を卒業する、或は結婚する、或は職を轉ずるといふ場合恰も溪流に片足を入れつゝ洋々たる大河をのぞんで、希望と憂懼と交々推し迫るやうに、今や學校といふ靜かな清い流れより社會といふ大海にのぞむ時、又は處女の時代から家庭の人とならうとする折、誰しも希望と心配と疑惑とが湧き來るものであります。

昨年の暮より此春にかけ、諸所の女學校を訪問した時、會見を求められた人達は、大概三月に卒業さるゝ上級生であります。之より高等教育を希望するが、其選擇に迷ふとか、或は進で學びたいが家庭の

事情がゆるさぬ、又は既に嫁すべき家が定つて居るが、斯く〳〵の問題があるとかいふ打明けた相談を若き姉妹方より受けて、到底思慮淺き私如きが、適當な返答や解決は出來ない事のみでありました。

斯る場合常に思ひ起すのは、聖書にあるダマスコ途上のソーロがポーロに變る時の事であります。彼が有力な後援を得て意氣揚々と、ダマスコの市に進んで來た時の雄姿は、想像するも愉快であります。彼は基督信徒といふ反逆人を撲滅して、國粹保存を普及し、宗教々育等に於てパリサイ派の諸先生を以て組織した大學を建て、有爲の青年を養ひ、選民の實を擧げんと計畫して居たに相違ありません。然るに彼は俄然天來の光に接し、神の聲を聽くや、直に意氣悄沈、勇士變じて病人の如く、僕に助けられながらやうやく城内に入り、三日間彼は懺悔と贖罪との祈をし續けたのであります。其結果彼は「神よ我に何を爲さしめんとし給ふや」と強請して新使命を知るやうになりました。かくて新機一轉した彼は「異邦人に遣す我器なり」といふ御聲をきゝ、同時に肉眼、靈眼共に開け、立て傳道界に身を投ずるに至りました。

彼の如くではないにしても、私共の豫想と計畫とも亦、全く齟齬して思はざる道に踏み入る事がないでもありますまい。又何等の計畫もなく、如何にしてよいかわからぬ事もありませう。ヨハネ傳五章にある病人のやうに、「水の動ける時我を扶けて池に入るゝ人なし」といふて、斯くすればよいだらうと知りながらも、手蔓がなくて困つて居る人も澤山あると思ひます。皆之は水の落ち合ふ所に立て、途方にくれて居る姿であります。先輩に相談しても、それだけで滿足の出來ぬ事もあり、兩親の命令なればとて唯々諾々で濟まぬ場合があり、友人の勸告が反つて誘惑的でもあり、思慮に倦む場合、ポーロの祈「我に何を爲さしめんとし給ふや」の如く、神にしつこく、御尋ねする事が實に必要であります。

「我等誰に行んや限なき生命の言葉をもてる者はなんぢなり」

とのペテロの信仰と告白とを、己れのものにする時神は教師や親や友人や書物其他を通して、必ず導き教へ給ふのであります。

　ポーロが熱心に祈つて居た時與へられた神の答は直接天來の聲でなくして、アナニアといふ先生を通してゞありました。私共も神の御聲がすぐ雷の響の如く又呪のやうにしてわかるといふ意味ではなく眞面目な、正當な、普通の道筋を通つて來る事を忘れてはなりません。

　諸姉の前途は洋々たる大海のやうであります。然るをわざ／＼小く溜水のやうな、溝水のやうなものにして終るべきではありません。家庭に入るとしても、昔と今とは、家庭の標準も、意味も、責任も廣く深くなつて來ました。良妻賢母といふ事も、基督の光に照して見れば、今普通に考へて居るよりももつと高い深い意味のものであります。女大學主義で滿足した時代、又今日も滿足するやうな人を、現代は要求して居りません。二十世紀の主婦は高等教育を受けねばならぬやうになつて居ります。社會問題、教育方針、政治經濟、總てに於て理解力を持つ位の人でなければ、一家の中堅として立つ資格がなくなつて參りました。有職婦人としても、數年以前とは標準が違つて參りました。自分の會社、商店が模範的である、俸給がよい、それで滿足だとして實業界一般にある陋習を柳に風と受け流すやうな事は爲すべからざる時代となつて居ります。有職婦人は又其人々の立場から、相當の智識を法律上の事に、又社會の成行に對して持ち、勞働問題の何なるかを會得して、進歩の步調を保たねばなりません。女教師等は猶更の事であります。學問技藝を傳へるだけが職ではありません。事の正邪を辯別し、子弟に穩健な思想と崇高な人格との感化を與へ、實行に於て忠實なるものとしなければなりません。故に孜々として勉學し、時代思想におくれず、見聞を廣め、教育界以外の事業に趣味をもち、出來得べくば旅行等にて見學を重ぬる事等が必要となつて來ました。

斯くいろ／＼と數へ來りますと、今や學校を出て種々の道に入らるゝ姉妹方は、之からが研究、努力の實世界である事は明であります。小い物質の損得や、つまらぬ人の毀譽褒貶に心を惱め、化粧や遊藝の競爭位で日を過すは、罪深い事であります。目を廣く開けて、洋々たる大海にのぞむ大決心、大努力を願はずには居れません。世界は大戰爭に加ふるに種々國內に紛擾のあつたにも係らず、どし／＼進步して居ります。私共日本婦人が、進步と云ふ大きな流に伴はず、岸邊に小な渦を卷いたり、葦蘆でせどめをされた溜水のやうになつて終るのは、忍び難き事ではありませんか。若き姉妹方が自重して、「神よ我に何を爲さしめんとし給ふや、人の目に小しと見ゆる事にても、神の目に偉大なる事をなさしめ給へ」と祈りつゝ、卒業式に臨まるゝならば神は必らず今後の方針を敎へ給ふのであります。

我等今日明日某の邑に行き彼處に一年止まり賣買して利を得んと云ふ者よ汝等は明日の事を知らず、汝等の言ふことに易て如此いへ主もし許し給はゞ我等活て此事或は彼事を行さんと、ヤコブ四〇十三―十五

◎皆さんは御存知ですか

本年は萬國といふ頭字のつく大會が諸所に開かれるやうであります。特に婦人の大會のみでもなか／＼數多うございます。四月にはロンドンに於て、萬國基督敎婦人矯風會大會が開催され日本より八十八歲なる矢島先生がミセスガンドレット、渡瀨かめ子夫人等と共に出馬さるゝそうであります。赤十字社大會は春瑞西で、萬國婦人參政權大會は五月スペインで開かれ、日本からの代表者を求めて居ります。六月早々瑞西で青年會の幹部大會が開かれ、七月より八月にかけ瑞典に於て萬國基督敎男女學生同盟會の大會が開かれます。殊に十月には我が東京に於て萬國日曜學校大會が開催される事になりました。此際基督敎婦人團體は大に活目して世界の大勢を伺ひ、大に得る所あり度く、又盡すべき分を全ういたし度きものであります。

損益の問題（腓立比書三章七、八節の研究）

大森日本基督教會牧師　佐波亘

世に不思議な事は澤山ありますが、人の心程不思議な而して神秘なものはありません。子供時代に蟬やとんぼを追ひ廻して居た興味は、成長と共に變つて人情を戀ひ慕ふやうになり、而して此感情が又發達して神に向ふやうになるのであります。

人の心は斯く變化して極まる所を知らない許りでなく、是は又永久的のものであつて、決して此世のみで其變化が止るものではないでありませう。今日お話する損益の問題も決して此世だけでは其眞價を解し得る事ではありません。然し私共が今知る事の出來るのは、基督に依て示されて居る標準に依てゞあります。聖書は初めから終迄人の靈魂の損益問題を取扱つて居る書物でありますが、殊に腓立比書三章の五、六、七、八節は此事を明に記して居ります、

御承知の通りポーロは此世的の名譽、家柄、學問道德何一つ不足のない完全な境遇に置かれた人でありました。而も愛國の至誠に到つては、基督教排滅を企た志士であります。彼は基督に至る迄は、是等の事を以て、完全、幸福、滿足な一點不足なく、恥づる所なき生活と信じ且誇つて居たのであります。

熱心に依れば敎會を迫るもの律法の義に由れば玷なきものなり。然ど我さきに我が益となりし所の事は基督に由りて損ありと意へり然のみならず我わが主基督耶蘇を識を以て最も益れる事とするが故に凡のものを損となす。（三〇六、七、八）

彼が香はしき香と思つて居たものは、實は恥かしき臭であり、誇と考へて居たものは眞に恥であつた事を知るに到つた道筋は、簡單ではありますが、此

數節によく記されてあります。六節から七節に移る間は實にポーロの生涯の革命期であります。「我が益」は即「基督に依て損」となるに至たのであつて、萬事を基督に依つて解決する生活、損益の問題は皆彼に依つて計算せらるゝ彼の後半生は、此所から發して居るのであります。

先には自己の感情と、世の風潮と、周圍の境遇とに支配された生活でありましたが、今は全く主の意の儘を行ふ自由と歡喜とに充ちた生活と變化し唯々基督の御胸の内にのみ生くるに至つたのであります。彼が今迄抱いて居た理想、目的、生活の理由の間に、此度は新しく基督といふ活ける力が加はつて萬事を彼を通して見るやうになりました。從つて人生の目的も、力の入れ所も、標準も變り、一切のものゝ價値轉倒が行はれたわけであります。之は決して彼の一時的感激ではありませんでした。七節八節の終に用ひられて居る「意へり」といふ語は商人が損得を算盤をはぢいて深く考へるといふ意味であります。一體かれが基督によつて敎へられた人生の損益問題は如何なる事でありましたか。思ふに彼は馬太傳十六ノ廿六の基督の御言葉を沁々さとり得たのでありませう。此言葉は一言に云ふと、世界と人の生命とを天秤にかけて考へると、生命は全世界にも優るものであるといふ意味になると思ひます、世界中の榮耀榮華とても、心の歡喜には比すべくもありません。

私共も靜に靈魂の損益問題を考へて見ると、基督の此御言葉の眞意がわかると思ひます。此眞意を捕へ得た結果として、必ず私共の生活の有様が一變して來るに相違ありません。毎日々々の損益問題を基督を通して考へる生活に至るのであります。ポーロにとつては如何なる問題も基督に依て解決せられないものはなく、斯のダマスコ途上の尊い經驗の後、彼の何所にも、基督が燒印されて居たのであります。殊に基督の十字架がポーロの心の中に深く印刻せられ、此事に依て彼は地につける生活を全く糞土

の如く思ひ得るに至つたのであります。糞土の二字は如何にポーロが彼の前生活に對して思ひ切りがよかつたかを示して居ます。私共は一度捨てしものに對しても、尚未練がましい思を續け易いものでありますが、ポーロのやうに悔改の時を機として、私共の生活の色彩が全く變らねばなりません。不決斷は何事にも失敗を招きます、信仰生活に於ても決斷力の乏しい事は、大なる損失を招くに至るものであります。信仰生活の毎日々々が斷乎として基督につけるものを取り、他を糞土の如く捨てる決斷的生活であるべきであります。之が爲に先づ基督の印刻を私共の靈魂の中に受ける必要があるのであつて、彼を私共の心の中に握る事に依て靈魂に大なる變化を與へられるのであります。

ポーロが完全とも思しき此世の幸福を全く捨て去て大なる眞の歡喜に至つた秘決は、彼が全く基督のものとなつた事にあるのであつて。是は決して方法や人間の細工ではなく、眞に基督の力に觸れ、それによつて彼が生きたからに他なりません。

（校閲を經ず）

ミケロアンゼロが途に落ちてゐる大理石の塊を見て此中に天使が居ると云つて持ち歸つた。さうしてあの天才の鑿をこれにあて、遂に天使の像を刻んだ。彼の目より見る時、如何なる人の中にも神の子が居る。然しこのためには數限りのない鑿と槌とがあてられる事を思はねばならない。人は自ら造られし目的、うけし使命を考へねばならぬ。我等は神によりてあり、神のためにある。即日夜の自分の生活は神に屬する生活でそれは犧牲の生活の實現でなければならぬ。我等は犧牲を日毎の供へ物として、神に自分を捧げ、而して神が私共の靈性の石に刻み給ふ形を、よろこんでうけなければならぬ。（故今井壽道先生修養講話中より）

卒業せらるゝ姉妹に

森田松榮

「木の芽はる雨」と申しますが、三月の半頃から四月初へかけては、まだ鬱蒼たる青葉や、爛熳たる花こそなけれ、ふき出づる木の芽に、萌え出づる綠の草に、欝勃たる生氣の漲り溢れる時であります。培はれた根から行末遠い生命の芽が生れる時、清新と希望の光が自然界を領する時であります。此時にあたつて、諸校に卒業式の行はれることは、寔に偶然でない心地がせられます。

培はれ來つた諸姉は、今や世に萌え出でんとする芽であります。芽はまだ五分或は一寸の綠でありませう。然し綠は希望の色であります。自然界に一陽來復の春あるがごとく、人間社會もまた年々諸姉によつて春を迎へ、希望を新しく致します。

綠の芽なる諸姉が伸びやうとするのは、めざましい天地、めざましい社會であります。新に生るべく悶きつゝある社會、專制と自由と差別と平等とが交戰してゐる時代であります。或所では既に勝利に近く、或所では戰將に酣に、或所では戰がまだ始まつた斗りであります。この戰はやがて世界的になるのでありませう。

此戰をなし得る者は、男子のみではありません。壯丁のみではありません。老人と雖、女子と雖、小兒と雖、あづかり得る戰であります。中でも大切なのは將來の戰士たる小兒の訓練であります。昔マホメットは他國を攻略するに際し「金銀財寶を奪ふ可からず、小兒を分捕るべし」と令したとか。さすが

に非凡の達識、基督者が日曜學校を創める幾百年前彼は既に小兒の宗教教育の重要さを知つてゐたのであります。彼は法令や權力で、表面上形式的の信者をこしらへ樣とはしませんでした。希望を遠い將來にかけて太樹となり得る種を求めたのであります。

そんならば、その種、卽ち小兒の訓練はといふに與つて最も力のあるのは家庭、次に學校と社會及び日曜學校であります。私は綠の芽とよんだ若い諸姉に、お婆さんにでも話す樣な云ひ方と思はれるかも知れませんけれど、全く新しい日本は將來に俟つべく、それには兒童の教育が大切、それには或は家庭の人、或は社會事業に從事される人、或は教育者とこれからなられる若き女子が大切と、大變まはりくどいけれど信じます。諸姉次第で社會の一部はいくらでも進步し得るとひとしく後戻りし得ます。今迄の女子はあらゆる點に不利な立場にゐましたが、是も下に見るごとく、幾分づゝ改善されやうとしてゐます。

教育上から云へば、高等學校專門學校に女子の入學の請願書が出されました。是が實現された曉には將來各方面に於る女子の能率を著しく增す事と思ひます。女學校長に男子を戴いてゐる樣な極めて變則な制度や、學識人格の淺薄な、世俗に阿る男女のデモ教育家等の跋扈も、自然に陶汰されていくでせう。

家庭上から云へば、花柳病男子結婚制限法の請願書が提出されました。是が實施の曉は、女子と將來の子孫とが受ける益は云ふに及ばず、男子自身もどれ程恩惠を受くるか分りません。我等は一日も早くこれが法定を望みます。

政治上、女子の政談集會に關して最も不合理な法律修正の請願書が出されました。外國でも家庭、兒童保護、風紀（禁酒、賣淫廢滅）等に關し、其等に有利な法律が一番早く制定されるのは、婦人が參政權を有する地方であります。根本代議士の未成年禁酒に關する議案、矢島楫子女史の姦淫に關する議案等は、既に廿年を經るも、兩院を通過しません。然し

女子が參政する曉には暫く間に埒があくことゝ思はれます。英國では鑛夫の妻等の投票によつて、一般社會の福利になつた案が通過したこともあると云ひます。

　諸姉の中には、直に社會に入つて働かるゝ方、敎育界に入る方、家庭に入らるゝ方等樣々と思ひます。直接に間接にどの境遇に於ても、女子と兒童との爲に、諸姉は多くの善を爲し得られます。中には猶一層の準備をする爲に、更に學窓に硏究を續ける方も外國に留學さるゝ方も尠くないと思ひます。

　こゝに一つ、如何なる境遇に入らるゝ方にも、等しく同一の程度で最も大切なことがあります。それは云はずと知れた「人格の完成」と云はるゝ方もあるかも知れませんが、それよりもつと大切な、もつと根本的な――これなしには人格が完成し得ぬもの――信仰であります。基督は磐の上に築かれた家と砂上に建てられた家とに、堅固な信仰の上に築かれた人格と、さうでない人とを譬へてゐ給ひます。衷心から切に私が希ふ一事は、第一旣に信仰に入つてをられる方には、自己の聖書の硏究を續くると共に小兒に單純な福音を語つて頂きたい事です。敎會に於て家庭に於て、日曜日なり土曜日なりに、いくらでも機會はあると思ひます。第二いまだ信仰に入つてをられない方は、人について、或は宗敎雜誌によつて、或は獨學で聖書を硏究さるゝ事であります。あらゆる自由、あらゆる正義は神から出てをります。(時には其の主張者、所有者が意識しないでゐても、或は無神論者で否定をさへしても)私共が眞に天の父なる神、神の子救主イエス・キリストの愛が幾分なりともわかるやうになり、信仰に入れば、聖靈の結ぶ果を漸次に得て、正義、自由を愛し求める念が熾烈になると共に、不義不正に對する憎惡の益々激烈になるべきは自然であります。信仰の種は幼兒の心に蒔かなければなりません。米全國に今度禁酒令が實施されましたが、これは、三十年前から全國の日曜學校及小學校に於て、酒に關する智識を兒童

に與へて來たのが、其兒童等の時代になつた今日禁酒法の實現となつたのであるといひます。
舊道德、舊い慣習、階級的及人種的僻見に囚はれて居る人は、全くの新生活に入るのに、內的生活にも非常な苦鬪をしなければなりません。それが鬪は愚か、努力も殆ど要しない程、自然に考へられ、實行される人は幸です。新しい酒は新しい革嚢に入れられなければなりません。

新しい制度も、幾多の特權も、此等を善用し得なければ、時には却つて害毒となることさへあります、債務國から一躍債權國となつた日本は、どれ丈その富を善用して居るでせうか。煙草や酒に國民が費す金額、藝妓、待合の數、遊廓へゆく人の數は近來驚くほど激增して來ました。

人種の幸福を少しでも斗らうとしてゐる人には、敵が充ち滿ちてゐます。然しそれ丈、働き甲斐、努力の張合のある世、又一方に同志も多い世の中です。

萌え出でた綠の芽は、雨にも雪にもめげず凋まず太陽の光と熱とに育くまれて、低い地から、高い大空さして、グン〳〵成長していつて、やがて、小鳥には安らかな宿を、旅人には涼しい陰を與へる大樹となりませう。さらば、とこしへに輝く靈魂の太陽の光と愛とに、護られつゝ、育まれつゝ、導かれつゝ、おのが立ち場々々に在りて、諸姉が「世の光」となり給はんことを。

戰なくんば勝利なし
勝利なくんば冠なし（オウガスチン）

涙よしうれひも問はず充ちたれるいのち生命と身のやせて戀ふ
よろこびかうれひかいまだ名を知らず溢るゝ生命たゞそれをのむ
冬のよし寒菊のよしたましひのつよく籠めたる其色のよし
（「夕ばへ」より）

殉教婦人に捧ぐ

カイティヤー

やすらかに眠りませ
君にまさる高きもの此世にはあらず
豪氣なる男盛になされし業も
思想の高邁なる勢力も
詩歌の火も
唯もろくかすれ行く譽あるのみ
君が名をこそ
時は永刧にはこびゆく。

さなり王座の崩れ落つらん時
人の誇と莊嚴の落つらんとき
永き名譽の家系
王者の冠と笏――
死し行く榮光のすべてが落つらん時ぞ
君がなさけある心の純潔なる奉仕は
そが一部なりし天にこそ住まめ。

森田松榮譯

―四月號から―

誌友の頁を設けます

之は全く讀者諸姉の領分に屬する頁でありますから、續々御投稿あらん事を希望いたします。詩でも、歌でも、感想でも、論文でも皆さんの衷心の叫びを御きかせ下さい。或は信仰上の疑問、人生問題の惱等を御もらし下されば、共に考へ、共に祈る事も出來やうと思ひます。此小雜誌が若き婦人の最も善き伴侶となり得ますやう、御助力あらん事を願ます。

編者

女學校卒業生の陷り易き二つの危險

中央委員長　井深花子

西洋人の口からよく發せられる言葉は What why How といふ語であつて、少し奇異に感じたものに就ては、正月のしめ飾り一つに對しても、其何であるか、何故飾るか、如何して爲すかといふやうな事をきゝ正される事が往々あります。日本人、殊に婦人に斯樣なよい意味の好奇心が至つて少い事は、誠に殘念な事であつて、私共は斷えず進歩して行く爲に斷えず何事かを知らうといふ意氣込が必要であると思ひます。

若い人達が女學校の卒業證書を手にすると同時に感ずる事は、あゝ是で一段落、といふ心持であらうかと思ひます。丁度高い坂でも越したやうな、ホッとした氣分になつて、ひと落着するのが常で、其先に進む所、越す山が澤山あり、そして其向ふには一層高い生活のある事に氣づかないで終ふ事があるやうに思ひます。

女學校出の女は役に立たない、應用がきかない、學校出でなくとも、實際の經驗を積んだ者の方が餘程頭の働きがよい、等といふ事を時々耳にします。之は其人にもよる事でありませうが、女學校等の敎育を受ける機會のなかつた人は、斷えず其缺陷を補なはふといふ心持があつて、或は通信敎授をうけるとか講演等をきく機會を勉めてつくるとかいふやうに努力するからでありませう。實際斯樣な心懸を持つて斷えず、新しい刺激に觸れやう、啓發され度いと願つて居る婦人は、女學校の免狀を握つて、安ん

じて居る人よりも、常識に於て、思慮に於て、又應用の才に於て長けて居る場合が多いやうであります、と申して私は決して、現在の女學校教育を無視し、少しも役に立たぬといふのではありません。勿論今の女學校の教育方針には飽き足らぬ感を抱いて居りますが、とにかく女學校の五年間の教育を受ける特權を與へられた人達が、斯樣な特權を與へられない人々に、數等優つて居るべき責任を有しながら、實際差程でない事を殘念に感じて居るのであります。此原因の一つは慥に諺にいふ小成に安ずるといふ事にあると思ひます。之は女學校の卒業證書を手にせられた若い人達の、第一に陷り易い危險であつて、卒業といふ事に伴ふ一種の滿足と、幾分の誇とが、彼等のまだ／＼伸びて行かなければならない芽を止めて終ふ恐れがあるのであります。

例へ卒業後直に家庭の人とならなければならない場合でも、其人の心懸けによつては、尙其境遇の中にあつて、進歩して行く道はいくらもあります。又母としての責任を早く負はなければならない場合でも、子供の成長と共に、母親が自分の知識的進歩を計つて行けば、其子供が中學校に入る頃迄には、母親も大に進歩して居るべき筈でありませう。若し毎日たとへ三十分の時でも、自分の勉强の爲に費すならば、子供が十五歲位になる迄には、必ず母親も中學生の勉强の下見位は易く出來るやうになり、程度の低い現在の女學校教育の缺陷をも補ふ事が屹度出來ると思ひます。

よく働く頭をつくる事よりも、芋の煮方、ビーフステーキの燒方、時間をきめて乳を飮ませる事位を敎へる育兒法等に重きを置いて、疊の上の水練を仕込んで居る今の女學校の教育に、學校出の若い人達は無能だといはれる責はあるかもしれません。けれど彼等自身の心懸けと努力とは尙學校を出て後の精神的、智的進歩を助ける事が大でありませう。

人は進歩して居ない時は退歩して居る時であるといひます、卒業後殊に努めて、書物に親しむ、有益

な話をきく、といふやうな事に心懸けるのは、若い人達の退歩を防ぐ一つの道であらうと考へます。

次に私の感じて居る事は、女子高等教育の盛んになつて來た今日、やゝもすれば誰も彼もがそれを憧れて自分の能力を辯へず、目的も明でないのに、進まうとする傾向の危險であります。

文明諸國の婦人達と對立して行かなければならない今日、多くの若い婦人達が高等の教育に進まれるのは眞に望ましい事ではありますが、それには、先づ自分の才能、健康、又家庭の事情等を考へ、同時に、高等教育を受ける目的をも確に定める事が必要であります。輕擧盲動はあぶ蜂取らずの悲境に人を陷れるものであります。

高等の教育を受ける事が必しも人を進歩させる唯一の道ではなく、又學問をする事が必ずしも人を最もよく生かす手段ではないのであつて、人各自に與へられた異つた天分を、最もよく伸し得る位置に自分を置くのが大切な事であります。女學校を出て直に高等の學校に入る事、或は家庭の人となる事、又は實務に從事する事、いづれにしても、若しそれが眞に自分の最もよく生き得る道であるといふ確信を持つて進む事が出來る所であれば、他人からは如何に見えても、其人にとつてはそれが最善の道であります。友達の誰彼が高等の學校に入るから私も、とか、卒業後一二年の間には大抵結婚して終うから私もぐづ〱しては居られない、等と考へるのは、大變な間違であつて、自分の性質と天分と其他の一切の事を一番よく知つて居る者、即ち自分自身が將來行くべき道を定めなければなりません。

卒業といふ事と同時に、いろ〱考へなければならない問題に出合はれる若き姉妹達が、眞に自己を知り、人生の意味を考へ、生き甲斐のある生活に入られん事を切に希望する次第であります。

エホバを畏るゝは智慧の根本なり。聖者を知るは聰明なり。

（シンゲン九章十節）

卒業は第二の入學

女子學院學監　三谷民子

日本の製作品は、外見は立派であるが實質は誠に下等であるとは一般の評であります。けれど外見のみを衒ふ傾向は、唯商品の上のみに表れた事ではなくして、私共の周圍にも往々其例を見る事があります。

例へば學問を追ふ一學生が、學力不足の爲、尚卒業の年限を延ばさねばならぬ場合に、其當人は勿論の事親達迄がしきりに、卒業だけはさせて貰ひ度いと、事實それだけの價がない者に、外側だけの形式を整へて貰ふ事を切望するのであります。

一體學問とは何でありませうか、それは形式でも飾でもないのであります。そして卒業證書は内に備へられたものゝ證明であつて、粗製亂造の輸出品に貼られた商標とは大に異つて居る筈であります。

眞に自分の値を知つて、自分自身にも亦他人にも決して欺かれず、進む事或は止るべき所に止る事、之が眞の進歩であります。持て居ないものを持て居ると考へ違へたり、他人にそう見せかけやうとするのは、實に危險なそして又淺ましい事であつて、如斯心持はどれ程人の進歩を妨げるものであるか知れません。私共の進む標準は、周圍の狀況や、世の流行ではなく、自分自身の中になければなりません。或は之を本心の聲といふ事も出來ませう。

卒業といふ語は餘り適當な言葉でないと思ひます女學校の五年の課程は、いはゞ裁縫の待針から待針迄を縫つたのと同樣であつて、決して一枚の着物を

仕立上げたのではないのであります。それも眞直にしつかりした針目で縫へて居るのは少いかもしれません。けれどもそれを立派なものでも仕上げたやうに考へたり、縫ひきれもしないものを縫えたやうに見せかけたりすると、其所に思ひがけない失望が來り、或は直に綻がきれ出すといふ不體裁を演ずるに至るのでありませう。縫ひかけのものは、當然仕上げられなければなりません。そして之は卒業後の努力に依る事であります。

又此五年間の課程は唯學問の手ほどきを與へたのであつて、之から獨學して進めるだけの讀書力、判斷力、理解力の糸口を開いたものとも云へませう。それ故其糸口から糸を繰り出して、立派なものを仕上げる責任は、すでに其術を敎へられた人達の肩にかゝつて居ると云ふ事も出來ると思ひます。

與へられた力を倘用ひ續ける事に依て、智識に於て、自己を知る事に於て、他を理解する事に於て愈々深く明になり得るやう努力する事は、其人自身を進歩せしめる道であります。更に進んで、一つの確い信念を獲得し、眞理の上に自己の生活を營むといふ精神的進境に入る事は、殊に望ましい一事であります。眞理を土臺として立たない所、型づくられない事には、事業でも、學問でも、家庭生活でも決して眞の平和と幸福とのあり得べき筈はありません。錦に包んだ死的生活から逃れたいものであります。

大連　三好待子様より

前略、長男慶一事も御惠みの下に日増成長いたし居候所舊臘十六日夜半俄に發熱、一時危篤の狀態に陷り又々御國に送らねばならぬ事と覺悟を定め候ひしも、特別なる御惠を蒙りて昨今もちなほし、快方に向ひ參り候。右様の次第にて、物心つきて始めてのクリスマスにも出席いたしかね、お正月も病院の一室にて迎へ申候　さて誠に些少ながら金五圓也龜谷凌雲氏の會堂建築資金中に御加へいたゞき度と存じ、御會振替口座に御拂込申上候。右は亡きものと思はれたる慶一、全く祈禱の答へとして再び私共に與へられし感謝の微意に御座候、御手數恐入候へども同氏へ御序を以て御渡し下され度御願申上候。

女學校を出んとする方々に

神戸女學院教頭　木村德藏

此三月に女學校を首尾よく御卒業、何と云ふ目出度い事でせう、衷心から「御目出度う」と申上ますが、さりとて皆さんは家庭の主婦となるべき資格が出來たでせうか、如何でせう、一體其資格とは如何なものでせう。

健全なる身體は勿論の事、健全なる思想と健全なる信念又は信仰、是等の三者は其資格と云ふてもよろしいでせう。身體が弱ければ結婚は悲慘となり、一家は破れます。不健全なる思想は母たり主婦たるの理想を缺き、世の誘惑のためドン底まで墮落し易く不幸此上もないことは到る所に實例があります。

確乎たる信仰は弱い身體をも強くし、且つ誘惑を能く征服します。之を中心として其所に、國家社會の極求する健全なる家庭が建設されます。

あなた方は今嬉しいでせう、充分にお喜びなさいけれども、あなた方は家や人の裝飾品ではない、無論玩弄物ではありません。實に世に於ける美はしい唯一の生涯を送る大切なる人生の途中に在る事を忘れてはなりません。改めて此事を自覺せねばなりません。美はしい新家庭が良人の死や事業の失敗のために破壞された時の覺悟や準備は出來て居ますか、

獨立の生活！　獨立の生活は、斯る時の準備のみではありません、今後の世に於る結婚前の一大要件です。之がないと裝飾品や、玩弄物とならねばなりますまい、其結果悲慘の來る事も充分覺悟し置かねばなりません。

大丈夫そんな事はないと思つて居た財産も、容易になくなります。嬉しいと誇つて居た名譽も一時に失せます、亡くならぬ失せぬものは、健全なる身體と思想と、信仰との三者ではありませんか。此三者は今日の皆さんに何程既成品として出來て居ますか、若し不幸にして出來て居ないとすれば、後ではモー駄目です。今考へねばなりません。此人生に於る三大要素を。

皆さんは其一要素に優れて居るといふだけではいけません。是非とも三者併行でなければなりません。若し三者が併行せなんだら却て有害となります。然らば此三要素は如何にしても得られませうか。之は至極大切な問題ではありませんか。私は其答として皆さんにお勸めする事は、皆さんがモット意義深い高等の教育を受くる事です。

其教育を受ける場所は、家庭でも、社會でもかまひませんが、矢張學校の方がよいでせうかと思はれます。兎に角あなた方が今女學校を卒業して、間もなく來る結婚は考へものです。失禮ながら皆さんに其結婚の資格は從來はイザ知らず、今日以後はありません。實際の所皆さんの心の中に、年齢からも、智識からも思想及び信仰から見て其資格があると思へますか。能く考へて御覧なさい。

人生は唯一度です。昔は奥座敷に引込で居た「奥様」があり、今は自動車でウスッペラな挨拶を振り蒔きながら美衣を見せ廻る「天女」があるでせう。皆さんはそれでもこれでもありません。

確乎たる信仰の上に、家庭と國家と社會とを建設すべき改造の責任は男子でない。あなた方の上にかゝつて居るではありませんか。充分考へて下さい。

誰か賢き女を見出す事を得ん、其價は眞珠よりも貴しその夫の心は彼をたのみその產業は乏しくならじ。彼が存命ふる間はその夫に善事をなして惡き事をなさず。其手を貧者にのべ、なやめる者にのぶ、彼は家の者の爲に雪をおそれず、力と尊貴とを衣とし口を啓きて智慧をのべ仁慈の敎その舌にあり。（箴言三十一章）

卒業後の經驗より若き姉妹達に

○女子英學塾出身　中村艶子

愈々三月に入りました學校からは新しい智識、瑞々しい力と、溢るゝ希望とを持つて多くの姉妹方が或は純眞な愛の家庭に、又は數多くの求めて止まない瞳をして見上ぐる教へ子達に、それ〴〵各自の使命のある所に送り出さるゝ事で御座いませう。學窓に、同じ理想と眞理とに向つて一歩にても進んと努力し理解し合つた學友から離れ、社會の一員として踏み出さるゝ時、其所には新時代の潮流に浴せぬ頑迷な頭が、思はぬ場所に暗礁として置かれてあるかも知れません。不合理な慣習、餘りに冷たい人の心に出合はるゝ時、豫期しない失望を御感じなさる事もありませう。然し之等は或は學校時代に磨かれ殘した人格に、圓滿を添え、忍耐を加え、犠牲の眞意義を教へて呉れる術ともなりませう。

洋々たる浮世の海原に舟出する日！　何といふ勇壯な響を持つて居る事でせう、然し掉す一日一日は決して骨折甲斐のある働のみで充滿して居るわけではありません。或時は一日バタ〳〵と掃除に雜巾がけに、洗濯に、かまどの守やお使等に、所謂家庭の苦役に暮れ、是でも生きたと云へるか知らと思ふ日が悲しい程つゞきます。そんな時始めて「汝等飲むにも食ふにも神の御榮を表はすべし」と云ふ聖句が意義あるものになり、逸り立つ心を鎭めて苦役に樂しみを加へます。

優秀なる成績も、修養されし人格も、若し信仰なき時はいつか暗礁にのり上げ、逆風に覆へる折ある事を憂へます。今や世は擧げて混屯たる渦中にあります。此際私共は多大の希望と期待とを持つて、信仰と智識と勇氣とに充ちた多くの姉妹方をお迎へいたす事をたのしむで居ります。（大正九年二月十日）

○ 青山女學院出身　早瀬のぶ子

自分を靜に見つめた時に、暖い母のふところから巣立ちしたヒヨッコといふやうなおぼつかない感もいたします。でも何日迄もヒヨッコでは居れません私の前には廣い道がひろがつて居る。そして其道を正しく踏みしめてゆかねばならないから。(廣い道と申ましたが、或意味では決して長閑な道ではありません。高原も谷も坂も峠も丘もあります）ともあれ私はこんな聲を聞かされる。

「お前は貧しい心の、而も貧しい考への持主だとうなだれる。神に依つての憂！　美しい事だ。然しお前はもつと高い世界をお仰ぎ、そこに神樣がお前に要求していらつしやることがある。そして世の人々も」

あゝ私は感激に一杯になる、感謝に充ちる。進まう。基督を中心として。生る日の美しい忘れがたみの爲に世の中から超越して、意義ある自己を、社會を、國を造り出す分子になり度い。それには他人のブライトサイドをしつかり握る事、そして自然の中に理想を實現しなければならない。

小い經驗からかういふ考が生れました。今私は梅の香のゆかしい南國でうれしく働いて居ります。

○ 岡山縣立高女敎諭　山根妙子

兎角卒業當時は社會の缺點がよく見えて、あれではならぬ之ではならぬと思ひますが、月日が段々經過する間に、周圍の人々と知らず〲安價の妥協をして主義を捨てゝ終ふ其時、社會からはあの方は角がとれて圓滿になつたと云はれますが、私は此樣な傾向を非常に殘念に存じます。些少な事で周圍の人々と爭ふのは好ましからぬことですが、自分の固く信ずる主義は何處迄も貫きたいものでございます。

○ 女子英學塾出身　平山信子

若き友よ　勇者たれ。

今や女學校生活を終へて、實社會へ出やうとして居るうら若い少女の胸には、何か美はしい理想が明星の如く輝いて居るに違ひない。周圍の事情や、舊い因襲の支配を受けない純粋な理想が、學校より社會への首途を勵まして居る事であらう。

而も實社會へ踏出して一月と經ち、二月と過ぎ、一年二年と經過する中に、其の理想はどうなつて仕舞ふのであらうか。理想に燃ゆる熱い血の通つて居た頼母しい少女たちは、あまり早く因襲に捕はれた昔の婦人の列に加はつてしまふのを情なく思ふ。

例へば、夫の選擇の大切な條件として、酒を飲まぬ人たる事、といふ理想を有つて居た者が、いざとなると、禁酒法案などには迚も賛成が出來ないやうな人に、何の苦もなしに片付いてしまふ。夫れのみか、自分迄が晩酌のお相手が上手になるやうな人が多い。又盆暮の贈答は絶對に廢さうと云ふ理想も、至つてお手輕にやぶつて仕舞つて、夏の眞盛、冬の寒さの最中、三越や白木へと贈答品を買ひ歩くわづらはしさに苦しんで居る人も澤山ある。

「婦人も人なり、參政權を得なければ」といふ燃ゆるやうな理想をもつて居た人たちも、いざとなると一寸婦人の權利を伸長しやうといふ請願書へ、署名一つ出來ないやうな臆病者になる。何の爲であらうか。」

「學校から見た社會と、實社會とは違ひますからね」と云ふ常套語を以て、一切を說明し去らうとするのは、卑怯である。夫れは戰はないで降參した人の遁辭ではあるまいか。

學校より社會へ踏み出さうとする若き友よ、

勇者たれ。勇者たれ。

神よ我をして眞實にしてよく忍ぶ强き者となし給へ。願はくは我に、より深く考へ、よりよく生き、より多く愛し得る力を與へ給はん事を。

外遊所感

海老名みや子

昨年四月ロンドンに着きし翌日、早速ハイドパークといふ有名な公園に行て見ました。樹々はまだ春の姿を見せないで、何となく、くすんだ様子である間を大勢の人々が逍遥して樂しむといふ所を見ても英人の氣質が表れて居るやうに思ひました。彼の地の樹木は春新芽をふく事はおそく、芽ぐんでから一ケ月もたゝなければ青い姿は見えません。花も咲く事がおそい代りに、いよ〱咲けば長くそれが保つといふやうであります。日本の櫻のやうに一週間で散つて終ふやうな事はありません。咲いてたつた一週間位しか保たない花を、一年中待つて居るといふ事は又日本人の氣質をよく表し、英國人がホーソン　メーフラワー　ホースチエスナット等といふ咲くにも永くかゝる代りに、咲いてからも永く保つ花を喜ぶのは、又彼等のねばり強い所を表すともいふ事が出來ませう。

公園の一隅に大きな碑が建てられてありました。其碑は何の飾りもない殺風景なものでありましたが、其周圍には山なす花が飾つてあつて、花環もあれば、束ねたまゝのもあり、其一つ一つにカードがついて居りました。一、二を讀んで見ると、

「此花を私の唯一人の息子に送る、彼は二十一歳にして某所に戰死せり」とか、

「最愛の人に送る、彼は國と家との爲めに死せり、妻と其子供より」とか、

「我等の父上に、彼の遺族より」とかいふのでした。

斯る犠牲の奇蹟から何かと起らずには居れぬやうな感がしました。唯是等の人々の犠牲が無意味に、戰場の露と消えて終つたとは、此碑の前に立つて、どうしても思ふ事は出來ませぬ。

ロンドンで戰爭の大打擊を受けて居る人々は、五十六十前後の男女であると見うけました。沁々戰爭がいやだといふ事は、英佛の人々に深く深く感ぜられて居ります。一人の英國醫師に聯合國が獨逸に對する條件はひどいではありませんかと云ふと、彼は憤然として決してむごい事はない。私には六人の子供があつたが、三人は戰死し、二人は負傷し、一人は寡婦となつた、斯る家庭がどれ程あるかしれません。之を思へば如何なる條件も酷でないと返事をしました。酷い條件もつまり二度戰爭を起さない道筋にしやうといふ思ひから起つた事です。慥に國際聯盟はなければならぬものであります。

五月の末にロンドンに於て、國際婦人協會と申す會に出席しました、餘り廣からぬ室に、十七ケ國の人々が集り様々の議事を取扱ひました。其所に出席した人々の質素で眞面目な事は、此所にも亦英人の氣風が表れて居ると思ひました。互に語り合ひました事は、今はもう一國の事だけを彼是云つて居るやうでは到底駄目である、世界の事を思はねばならぬといふやうな事でありました。

女學校あたりでも此國際的精神を養ふ必要が認められて居ります。或時私共夫妻が小學校を參觀いたしました。其時視學官や校長等が實に親切に案內をして下され、講堂に日英の國旗を飾り、生徒に日本と英國との同盟といふ事を、其場で教へて居られました。米國に來て基督教市民の國際聯合會といふものに臨みました。之は非常に大きなもので米國に於る九十五の婦人會が其接待役に當り、一人が一人若くは二人位の世話をするといふ風に割あて、ありましたから、何千人といふ客があつても、少しも障りなく、心地よく其催につらなる事が出來ました。

此實驗にてらし、來る十月の萬國日曜學校大會にも、よろしく基督教婦人團體のものが中心となり、多くの個人が協力して、外國の客をもてなすといふ運にいたし度きものであります。(在文責記者)

出立に際して

河井道子

三月號の此雜誌が讀者の手に渡る頃は、三月五日横濱出帆のコレア丸に乘船の爲、私の急がしい時であります。今回萬國基督教女子青年會の招待により來る六月二日瑞西ゼノワ市に於る萬國女子青年會幹事委員の大會に出席する事になりました。

然し此大會のみが目的ではありません、先づ最初布哇に十六日間滯在して、日本人間の働、事業、國際的運動等を視察して、四月七日に桑港に上陸し、直にオハヨー州のクリーブランドに於る米國女子青年會の大會に臨みます。

抑々合衆國では隔年に女子青年會の大會が開かれる恒例でありましたが、戰爭の爲五年間開かれませんで、今年開催の事ですから、なかなか重要な會議が澤山あります。會期は十日間になつて居ります。特に永年宿題になつて居た學生部の憲法修正案の通過如何も決せられるでありませう。必ず私共のうかゞひ知る事の出來ない動搖のある事と信じます。

五月上旬に英國に渡り、同月二十一日にディーツ市に於る大英洲の女子青年會大會に臨む事になつて居ります。それがすみ次第瑞西の青年會幹事會に出で、それより七月は英國に於る、スワニック修養會に招かれて居ります。此修養會は英國に於る基督教男女大學生の唯一の聯合夏期修養會で、米國とは非常に趣を異にいたして居ります。此所に於てはさぞ新しい事を見聞する事と、今より其幸福を感謝して居ります。八月は瑞典に至り、萬國基督教學生同盟會大會に列する事になつて居ります。

明治四十年に東京に於て、此大會の開かれた事を諸姉の中記憶さるゝ方もありませう。日本に於て萬國といふ名のついた大會、又慥に世界中からの代表者を集めた大會は、之が嚆矢でありました。時の諸

大臣は代表者を歡迎し、公私の歡迎會は非常なものでありました。醫科大學に於ては、蘇國土の名醫シモンス博士を招待し、彼が醫界を視察しに來朝せずして、基督敎學生及敎授の代表者として、わざ〳〵日本迄來られし事は、日本の學者社界には想像もつかなかつた事であります。歐洲戰爭に於て戰死されたロシアのニコラス男爵も、其當時東京の諸所にて講演された事があります。彼はロシアに於て基督敎學生の指導者でありました。獨、佛、米は云ふに及ばず、和蘭からも代表者が參り、我々は此團體の如何に有力なりしかを、初めて知つた次第であります。後で外務大臣になつた朝鮮の一信徒も、學生の代表者として出席され、其雄辯には皆が驚嘆した事でありました。彼は日英兩語で演説をせられました。二月號に掲載した學生の祈禱日といふのは此會が毎年催す企であります。歐洲の戰亂中不思議な事には總ての文通が杜絶したにも係らず、此萬國基督敎學生同盟會だけは、其消息をお互に知り合つて居たといふ奇蹟を持つて居ります。

今年の瑞典大會には日本より立敎大學總長元田作之進先生と、男子青年會主事フィシャー氏と私とが出席する事に選定されました。秋には再び米國に歸り、戰後の經營、青年會の新組織、其活動等を充分に知る機會を持ちたいと思つて居ります。

排日熱の盛んな今日でありますから、日本の爲めに目に見えた貢獻は到底微力なる私に爲し得ざることでありませうが、せめては陰に於て、日本信徒の立場を明にし、辯解すべき所はなし、謝すべき所は謝して、一人でも眞に日本を思ひくれる人の増すやう努力するつもりであります。

歸朝は年末頃かと思ふて居ります。私の消息は可成本誌に毎月通信いたし、讀者との親交を繼續するつもりで居ります。今度の出發も恐懼と躊躇とを以て出かけますが、諸姉を代表して立つ事の出來る力を神より與へらるゝやう御加禱あらん事を願ます。御挨拶に代へて一言申上ます。

女子青年會本部（東京牛込田町三ノ一二）

二月十四日午後二時より新渡戸博士邸內幹事住宅にて中央委員會開催、出席者委員九名。幹事四名。諸幹事の報告、協議事項左の如し、

一、指名委員報告。長谷川氏を副委員長に。ミスロンドンを書記に、星野氏を修養會委員長に選定し新にミスマクドナルド、ドクトルリード、及ミスパイダーを委員に加ふる事。

二、財政委員報告。中央委員は任意の會費を納附する事、井上氏多忙につき適任者を財政委員長に擧ぐる事を指名委員に依賴す。

三、幹事委員推薦事項。

イ、河井氏、渡歐につき幹事養成所は一時見合す事、中央委員は新幹事の研究すべき問題の目錄を作り之を各市部に提供する事。

ロ、山本琴子中西しな子の兩人を今秋より紐育幹事養成所に送る奬學金留學生候補者として推薦の事。

ハ、外國幹事二名は家事上の都合にて一時歸國の件承認されん事。

ホ、幹事補三名を新に派遣されん事をミスアダムスを通して、米國本部に依賴する事。

以上承認、但留學生選定の件は重大なる事なれば幹事副委員四名を擧げ、候補者につき精密なる調査及試驗をなす事に決す。

四、各市部の報告。

五、マクレン幹事報告。新渡戸博士邸へ移轉以來百四十九名の客を接待し、其內九人を宿泊せしむ。

六、ページ幹事報告。青年會創立の爲一週間後甲府に赴く事、米國より活動寫眞フィルムを寄送され過日損害料三十三圓を支拂ひて之を落手せり。

七、ミスアダムス歸米に際し贈物を進呈する事に決し購求方をミスペーヂに依賴す。

八、河井幹事報告。今回歐米に出發の件につき報告並に意見を述ぶ。

九、通信。支那女子青年會本部にては、毎週火曜日を定め日本女子青年會の爲に祈らるゝ由につき、河井幹事に托し感謝の意を表する事。

一〇、米國女子青年會本部にては、工業部幹事ミスデングマンを派遣さるゝ由。

一一、森田松榮氏を雜誌編輯顧問として依賴する事

一二、今秋日曜學校大會開催中は出來得る限りの盡力をなし、尚本部にては六人位の代表者を宿泊せしむる事とす。

一三、二月二十六日午後三時より六時迄小石川幹事住宅にてアダムス、河井、オルチン、渡邊の諸氏送別の爲茶話會を催す。準備委員として四名を擧ぐ。

一四、二月二十九日萬國學生祈禱日に男女青年會學生部聯合して外國留學生と共に大祈禱會を神田美土代町青年會館にて開く事とせり。

寄附金

一金五拾圓　加納たつ子

一金拾圓　在米 無名氏

東京女子青年會（神田北神保町電九段一六八）

一、二月一日幹事委員會開催。協議事項左の如し。

イ、學生部幹事渡邊百合子氏辭職。研學の爲三月五日出帆。よき後任者の與へられん事を祈る。

ロ、昨秋より休養中の鈴木トミエ氏三月より復職

二、二月五日寄宿舍委員會開催。久しく旅行中なりし會長志立タキ子氏を迎へ活氣ある協議をなす。新に會の財政を整理増進の爲志立、小室、内池、千葉の諸氏を該委員に擧ぐ

三、二月十一日相談會開催。事業の發展、諸物價騰貴の爲、從來の支出豫算額月七百五十圓が千圓近くなり、豫算收入を差引ても五百圓近くの不足を生ず。よりて會費増額をなして其一端を補ふ事に決議す。以後普通會費一年壹圓五拾錢維持一年五圓とす。

四、クラブ指導者養成科開始。篤志婦人の爲第一回を二月十日より三月二十六日迄毎週一回宛研究會

を催す事とせり課目は一基督教と社會事業河井氏二女子青年會歴史及目的趣意加藤氏、三女子青年心理長谷川氏、四クラブ組織及方法(二回)ミス、アレンミスヴエリー。五指導者の意義ミス、アダムス六東京市につき一回。實地視察等。

五、二月二十四日鐵道クラブ懇談會開催。上野東京萬世橋の三所の鐵道院に働く姉妹方六名と相談會を開き、準備委員を擧げ其人々が萬事の責任を負ふ事とし當日は司會を務められ、感想談をなす等實に愉快なる會なりき。御馳走は坂本先生の御骨折で輕い西洋料理、お互に打解けて親睦をなせり、之より鐵道クラブとでも名をつけ名簿をつくり盛になさんとの希望を以て閉會す(以上加藤幹事報)

○家庭部。西洋婦人二名と日本人一名とにて受持たれ、毎週木曜日午後一時半より四時迄の授業にて月謝實費共(ミシン使用料ミシン糸代)貳圓なり。下着より初め一般西洋小兒服をなす、西洋婦人が一年足らずのお子様をお連れ下され、着物の着せ方から、おむつのあて方迄實地教授されたり。子供洋服の裁方は日本婦人によりて教へられ、生徒數の割に先生の數多き故、教授法行屆き居れり。今迄作りしものは子供のランパース(上ぱり)を洗ひ晒しの紺絣や縞物にて作りし他、ホワイトシャツの古にて赤坊のペティコート等もあり。近く製作品展覽會をなす豫定なり。

○料理の組。前學期はディナー講習十回と普通料理の組と二組なりしが今學期は普通料理の組のみとせり水曜日一時半より五時迄と、木曜日九時より十二時迄との二組ありて、授業料は一組につき壹圓實費貳圓計參圓なり、今學期は野菜を多く用ひ山東肉等少し安き肉をも手に入れ實用向の品を多くなすつもりなり。(以上坂本氏報)

○英語の組。前學期通り七つの組の一週三回宛の授業の外目下は受驗準備の特別科もあり。

○タイプライター科。四つの機械が朝九時より夕五時迄一分の休もなく活動し、主任教師は最新式の

教授法を實施せられつゝあり。

○音樂部。秋元先生指導の下にピアノは朝より晩迄殆休み間なし。

○バスケツトボール。毎土曜日ミスクラウス指導の下に行はれ度々外國少女と盛んなるマチをなす。

○聖書の組。組數廿、生徒總數二百人。之等の組の後には多くの人々の祈禱と愛と犧牲とがあり。生徒達の中には信仰の試練と戰とは少からねど一層の恵の中に成長しつゝあり。新しき試の一つとして聖書研究委員を作りバイブル教案の作製をなしつゝあり。

○二月十四日には東京音樂學校の信徒學生の集會あり、ミスダニングの勸話の後種々の協議をなし三名の委員を選擧し　後日の音樂學校靑年會の爲土臺を礎き感謝と希望に充ちて散會せり。

○二月十五日讃美禮拜を開催し、渡邊ゆり子氏の御話ありき。此日の先生の御話は母が子供への教訓の如く、一言一言聽く者の心に感銘を與へしやうなりき。（以上中西氏報）

學生支部役員改選

女子英學塾靑年會

會長　井川きよ　副會長　千村重
書記　林壽代　會計　片田美惠
集會部　鹿股ふみ代　社交部　村山世年
誘導部　後藤靜江　販賣部　横山八重
圖書部　中西とみ　梅本あい

梅光女學院靑年會

會長　内田ミツヲ　副會長兼宗教部　吳屋
會計　安部野々市　書記　井上タミ
聖書研究部　久保郁　仕事部　相川ムツ
社交及社會事業部加藤　賣店部　戶田
誘導部　相見タカネ

遺愛女學校靑年會

會長　船越谷よし　副會長　猿川秀
會計　成田たい　齋藤とみ
書記　川合した　高松ろく

宗教部々長川口マサ　聖書研究部長幸田マリ
社會事業部長青柳きみ　財政部長佐治たまへ

横濱女子青年會 (本町通一丁目)

バジエント以後本會に對する、世間の同情と理解とは頓に增加せし故此機を逸せず會員募集に着手しめたり、之が準備の爲職員一致協力して每夜十二時頃迄執務し感謝を以て時の來るを待ち居れり。

募集會員數を五百名とす、僅かの時にしかも無經驗なる者の初めての試としては餘り無謀ならずやと一時は懸念せしも、期日近づくに從ひ此企は必成るとの確信愈々强くせられたり。さて準備として先づ千餘名の募集人員名簿を、敎會、同窓會、其他個人の紹介等にて作り、之を地理に從ひて一、神奈川方面、二山手方面、三本牧方面、四市內の四部に分ち各部每に部長一名と部員七名を選定し、同時に全會員を四分して、總ての會員がどの部かに屬するやう計畫したり。此千數人の人々には前以て手紙を認め、趣旨書、規則、申込書、講演會への招待狀等を封入して郵送し募集委員の行く迄には、靑年會の何たるかを大方知らしむる樣企てたり。先づ之を手初めとし、二月十六日に市內新聞記者を招待し、幹部委員數名及幹事が主人役となりて、此企につきての充分なる說明をなし援助を乞ひ、次いで十九日夜には募集委員全部の相談會を開き、河井幹事、渡邊ゆり子氏に御出を願ひて奬勵を乞ひ、共に實驗談を交換し、大に勇氣づけられ、益する所ありたり。二十一日には公會堂に於て、大講演會を開催し、女醫井上友子氏、代議士高橋本吉氏、河井幹事講師として演壇に立たるゝ事となり居れり。

此會合にて橫濱市民に靑年會の精神及婦人運動の何たるかを傳へ、それより實戰にかゝる豫定なり。幹部委員及會員の熱心と協力とは、本會の誇とする所、此度の計畫の成功は信じて疑はざる所なり。すでに事務所にむけ申込豫想以上に來りつゝあり。

大阪女子青年會 （大阪北區天滿橋筋）

流行性感冒の影響をうけた當會の一月はヒッソリして居りました。幹事等は、缺席生徒及委員會員會友の病氣見舞に忙はしく、尙一般に流感に對する心得を記したるものを添へて見舞狀を發送しました。又本會幹部委員の一人高安すゑ子夫人は流感に關する注意を講演せられました。

ハード幹事指導の許に各部委員會は來る三ヶ月間の計畫をたてられました。いつもながら本會發展の爲祈りつゝ働く熱心な委員方の與へられた事は感謝の外ありません。

敎育部、若き婦人方の爲に家庭向英語會話の組、日本語夜學の組、女學校卒業生に必要の組新設の事。

會館及寄宿舍部、委員は至急日本幹事等及少數寄宿生の爲の小さき家を探す事、又來る九月迄に二三十人の寄宿し得る家を探す事。

擴張部、婦人勞働狀態の調査に興味を持てる一團の婦人を集め研究會を起す事、近く學生クラブを中心として市內各公私女學校生徒を集め宗敎の必要を說き必要に應じて各女學校近邊にクラブを設る事擴張部幹事を得る爲に運動する事、此爲に各敎會婦人會及女學校靑年會の助力を仰ぐ事。

二月に入つて委員會を初め各組出席者數增加し俄に活氣を呈して參りました。折柄御來阪中の河井先生の御助は一層の力でございました。ピージークラブは一夕二十人程集り先生の御話を伺ひ深い感銘を與へられました。委員長星野夫人の請願中であつた建築資金募集も年末許可になりました爲、夫人を初め委員方は祈りつゝ確信を以て靜かに働いて居られます。其爲御來阪下さいました、河井先生は寒さを厭はず星野夫人方と市有力者を御訪問下さいました。

金拾五萬圓は會館寄宿舍建築の爲向ふ三ヶ年間に集められねばならぬ金であります。之が爲皆樣のお祈を願ひます。「凡て祈りて願ふ事はすでに得たりと信ぜよ、されば得べし。」（馬太傳十一章二十五節）

京都女子青年會（京都室町武者小路上ル）

會はまだ組織に至らず引續き準備中である事は皆樣の御承知の事と存じますが、毎日どんな事をして居りますか、左に少し許り申述べませう。

昨秋から正式に設けました英語、聖書、西洋料理、唱歌の組等いづれも只今では人數も增加し、內容も餘程確固としたものになつた樣に思つて居ります。

○○○英語の組。當市は今尙保守的な所で、茶の湯、生花等の師匠はなか〳〵多い樣ですが、英語等を敎へる機關が學校以外に殆なきものと見えまして、英語の組を始めますと豫想以上に申込があり、今では組を五ツに分け出席者の數は各組を合せて四十九名あります。主に女學校卒業生の家庭の婦人が多く、至て眞面目に熱心に勉强して居ります。近く程度の高い組を今一つ加へる考で御座います。

○○○料理の組。大阪青年會の料理の先生の久米ヤス子氏が月二回御出張下さいまして、二十一名程を二組に分け眞心をこめて西洋料理法を敎へて居て下さいます。

○○○聖書の組。英學塾、女子大學、高等師範卒業生、又英語を解する他の人々の爲、ミスボトサルが英語聖書の組を一週に一回開き、基督の社會的敎訓につき敎へ、其他同志社女學校、府立女學校、看護婦の爲にも組を開き、特に月一回大阪の西野女史に宿りがけで來て戴き、基督敎についての一般の御話を願つて居ります。

○○○唱歌の組。田村弘代氏の御好意で女學生に唱歌、主に讃美歌を敎へて戴いて居りますが、近い中に外國婦人につき正式に唱歌を習いたいと申す人の望に從ひ、今一つ唱歌の組を設けたいと思つて居ります。

ミスクロフォード不在の折柄私共は毎日誠に多忙な日を過して居ります。二月五日河井總幹事の御來訪を幸ひ、會に毎週出入いたして居ても、女子青年會とは一體どんなものか其趣旨の分らない人々に會の起源と精神とにつきお話戴き深き感動を與へられし事を喜んで居ります。（林秋子氏報）

募集運動に加はりて

野田徳子

記者曰く、左の一文は在米日本人基督教女子青年會發行の「女子青年」から拔萃したものであります。

十二月一日から一週間來年度經費總額金十五萬弗の募集運動を決行するといふ事は豫て承知して居りました事ですが、實は一日午前十時其本部に當てられるパレス・ホテルに集るやうにとの命の儘に私は「行て皆樣に敎へて戴けば」とぼんやり考へて參りました。行つて見ると平常でも忙しいあの入口の左右は會の張出しが一ぱいで、もう何となく强い緊張した氣分が爲出しました。內に入つて行きますと、會場に宛てられた廣間も臨時事務所も實に整然として、多くの婦人が活動の準備の相談に如何にも忙しく活氣を呈して居りました。

そうなると私も周圍の空氣に侵されずには居られなくなりました。私共日本人は十四番のティームを組織する事となり、其行くべき名と所とを手分けして事務所に書き出しますと、私共の不用意にお構ひなく僅の間に一々それがカードに刷られ、心得書領收書等組織立つた袋入りのものが、運動者の各自に渡されました。それがすみますと集つた約百五十人許の婦人と少數の男子の方とは一堂に晝食を共にし、其終りをまち運動開始の宣言となり、數名の婦人の演説によつて女子青年會の精神を高調せられました。

準備はすつかり整ひましたが油斷をしては僅な日に豫定分擔額二千弗を募る事はとても覺束なく思はれて、よく相談し合ひ心に祈禱し乍ら、受持のカードを手にして、生憎降り出した雨の中を働き初めました。其時の不用意は却つて强い熱心と努力とを生み、翌日其翌日と晝食時間に日々の運動の結果を發表さるゝ報告には、私共十四番は一般の眼を惹く好成績を示し、米人の盛んな拍手を浴びせられました。

私は其時涙ぐましく「會に對して持久的に私共各自が、此時の精神を持ち度いものである。神よ私共を勵まし、誠心の力を與へ責任を感ぜしめ、弱き私共を惠み給へ」と心秘かに祈りました。三日目には二千弗を超過しました。此好成績の裏には小池會長初め皆樣の大なる力が潜んで居る事を忘れてはなりません。私共の小い心盡しと骨折とが積つて、靑年女子の爲となり、一人にてもよき社會の分子を造り出さん爲に、益々鬪はねばならぬと思ひます。

何によらず募金といふものは嬉しい仕事ではありません。此仕事を熱心にする人は、かくれた非常な男氣と獻身とがいります。在米の同胞姉妹が此目醒しい活動をされた御樣子を知り、心からの敬意を表し度く存じます。日本に於ても諸所の女子靑年會で募金をいたしますが、未だ米國のやうに組織立た仕事は出來ません。

今月大阪に於て、二人の幹部委員のお伴をして募金のよき經驗をいたしました。大阪靑年會は向ふ三年間に十五萬圓を作ろうと意氣込んで居ります。幸にも廣岡家より一萬圓を筆頭として、二千圓より五十圓迄の數口が與へられました事は、私共の此度の企にとつて大なる奬勵でありました。それによつて男氣づけられ、幹部委員は大きな商店、會社等を戸毎に訪問されました。坂部とみ子、星野すま子兩夫人は、寒空もいとはれず、忙はしき御家庭にも係らず、市外の御家から出かけられ、私を案内されました。「今日は來る時、道端で祈つて來たのですよ」と星野夫人が停車場での御言葉でした。

夫人の用意周到は驚く許りで、行くべき諸會社の番地から社長、重役の名前が委しく書きとめてありました。住友銀行、三井銀行及物産、三越商店、東洋紡績、大阪綿花會社等といふ主だつた所に行かれ、社長或は重役に面談をしました。最初名刺を出す時はなかなか心配で面會拒絶ではないか、侮蔑の態度ではないか、金錢の話はお斷り等といはれはせぬか等想像して應接間に通ります。兩夫人の上品な落着いた態度と明瞭な說明とは主人側の敬意を引き起し、何處でも皆好意を以て應接され、重役會議に附して返事をするといふやうな答を受けました。之は僅に斷の答であると信じます。何處に行つても下役は驕豪な樣子を示しますが、社長取締等は皆丁寧に好意を表はされし事はよい敎訓でありました。委員會員方が陰に陽に會の爲努力さるゝ事を深く感謝して居ります。(M、K、)

◎東京靑年會の

電話　九段一六八

雜報

◎林歌子女史に藍綬章。大阪博愛社の同女史は婦人保護、孤兒救濟等の功勞顯著なること天聽に達し二月五日附を以て藍綬章を下賜せられたり。

◎女子商業學校開設。神田駿河臺のバプテスト英和女學校は廢止せられ、それに代へ四年程度の女子商業學校創立せらるゝ由。遲くも本年秋迄には開校の豫定なりと。

◎萬國日曜學校大會。今秋十月東京に於て開催の同會には千五百人餘の代表者世界の各地より來集せらるゝ由。其內少くとも五百人は個人有志の家を開放して宿泊の便を與へられ度き、委員の希望にて目下準備中。

◎支那留學生家庭寮。丸山傳太郎氏は松翠寮と名づくる寄宿舍を支那留學生の爲、牛込區山吹町七七に設けられたり。

◎ゼームス、バラ氏の永眠。昨年歸米せられし同博士は去る一月二十九日永眠せられたり。同氏は今より六十年前(文久元年)宣敎の目的を以て來朝せられ、引續き我國基督敎界の爲少からざる貢献をせられし事は、敎界人士熟知の事實なり。

◎萬國學生祈禱日。二月二十九日の當日には、美土代町青年會館にて男女內外學生の聯合大祈禱會催され、山室軍平氏の講演ありたり

◎國家祈禱日。矯風會主催の同會は二月十一日例年の通り催され、海老名みや子、河井道子兩女史の講話ありき。

◎婦人社會問題研究會。二月十四日美土代町青年會館にて開催せられ、左の講演ありたり。

○人としての日本婦人の價値を論じて……鷲尾よし
○職業婦人としての經驗から……塚本なか
○婦人參政權運動……奥むめお
○婦人と社會問題……西川文子
○眞の敎育……三角 錫
○惡太郎の母……原 胤昭
○家庭の改善は女子の責任のみにあらず……吉岡彌生
○フッセルの結婚論について……宮田 修

□人を求む　身體强壯、信仰確實なる婦人にして紡績工場の寄宿舍々監を希望の方。

□職を求む　英語を解する四十歲程の夫人、英語敎師或はタイピストとして雇はれたし。

宗教なしの婦人の覺醒は

米國　加納たつ子

當地に參りましてから丁度二年半程になります。其間にこちらの青年會の事業を實際に拜見いたしまして本當に大したお働であると感じました。そして日本の青年會も廣く〳〵手を廣げられて、社會人道の爲に神の命じ給ふ大切なお仕事が出來ますやうにと祈つて居ります。殊に唯今何れの國も階級戰爭でなやまされて居ります此時、いくら國柄が違ふと申しても、日本もやはり其仲間から出る事は出來ないで、なやんで居るやうでございます。物價騰貴から生活難を來し、さては婦人が覺醒するやうになつて參りました。けれども宗教なしの婦人の覺醒位あぶないものはございませんと存じます。それでつく〴〵日本の女子青年會が此際日本にとつて大切な〳〵ものである事を感じました。本年の今日（十二月二十一日）は私共神の御前で結婚いたしましてから十年目でございまして、其間いつも〳〵深い御恵によりまして日々感謝と喜に充されて過し唯今では四人の子供の母として樂しく暮して居ります此大きな祝福に對してはとても物質等で御返しは出來ませんが、唯感謝に充ちて居ります心のしるし迄に、神の御働をしていらつしやる女子青年會に同封の小切手（金五十圓也）を少金ながら、何かに御使ひ戴き度御送り申上ます。どうぞ御受納下さいまし私もいづれ日本にかへります事と存じますから其時は及ばずながら御會の御手傳をさせて戴き度と今から樂しみにいたして居ります。神の御祝福が御會の上に豐てございますやうに。十二月二十一日

信仰と共に事業も發展いたし候

三重縣中村製糸場　折居きん

前略伊勢鈴鹿郡關町と申候唯今私の働居る町には基督の道は更に傳り居申さず候所、神樣は數ならぬ者共を御使し下され工場主始め二十餘名の信者又其他求道者數名を出し、工場主は基督教主義なる埼玉縣石川組より奥樣を迎へられ、信仰と共に事業も益々發展いたし候。神樣はからし種にも足らざる最小き者をも用ひ給ふて大なる事をなさしめ給ふ事を深く深く感謝いたしたへず喜びに充され居申候尚日々受け居り候御恵み申上度事山々有之候へ共淺學なる上幸にも御用を多く與へられ誠に多忙にて認めかね候何れ又青年會の方々に御目もじの折も候はんと存じ居候後略

印度洋を航海中

岸ふみ子

過日歸京中はゆる〳〵御目にかゝる折もなく打過ぎまことに殘念に存じ候。シンガポールにては敎會の方御二方樣船迄御訪ね下され誠にうれしく存じ候ペナンを出帆後二日經て唯今印度洋航海中に御座候へ共思ひし程の暑さにても御座なくまことに幸に御座候今日迄一日も波高き事無之、兩人共元氣に候間御休神願上候。一月十九日　北野丸にて

ほんとによい者に

東洋英和　釜屋綾子

嬉しい事を御通知申上ます。修養會の時來て居られました福井すゞ子樣が十二月十四日にバプテスマを受けられました。修養會の及ぼす働の大きい事を驚き又感謝して居ります横濱に居ります私の姉は横濱青年會にいつて居ります。私達二人は私共の家の中心となり又親類の中心、社會の中心となつてほんとによい者になりませうと決心して居ります。

消息

■河井幹事　三月五日コレア丸にて出帆、布哇に十六日間滯在せられ、米國に渡り五月英國に赴かるゝ豫定。

■渡邊百合子氏　女子教育及社會事業研究の爲め河井幹事と同船にて渡米。

■長谷川梯子氏　名古屋金城女學校出身後數年朝鮮にて教鞭を執られし同氏は二月より横濱青年會に赴任せらる。

■加納たつ子氏　十年程以前お茶の水在學中青年會を通じ基督教に入られし同氏は目下米國東部に家庭を持たれ、今回結婚十年の紀念として本會に金五十圓を寄附せらる。

■内田邦子氏　フエリス女學校青年會に永らく會長として盡力せられし舊黛氏は、御結婚後尙引續き同校青年會及市青年會に盡力せらる。

■福井壽々子氏　福井菊三郎氏の令孃は昨年夏期修養會よりいよ〳〵信仰を高められ今回受洗せらる。

■安田そよ子氏　名古屋にて受洗せらる。

■ハード幹事（阪大）　十日間の休暇を得て鹿兒島に旅行せらる。

■松岡鎭枝氏（本部委員）　同氏の御良人は御病氣にて大學病院に御入院中。

■小原秀次郎氏及夫人　父君の御病氣御見舞の爲今般上海より一月許り上京せられ、青年會を訪問さる。

■田中正子氏（本部委員）　風邪にて引籠中。

■服部きみ子氏　名古屋吉川氏の教會に屬さるゝ同氏は今回本部特別會員になる。

■堀木ゆき子氏　鈴木うた子氏の令妹なる同氏は二月十二日永眠。

■沖たく子氏　永年米國サクラメント府に住居されし同氏は兩三年休養の爲歸朝され、東京青年會々員となる。

■村上いち子氏　加藤幹事の令妹なる同氏は病氣快方に向はれ、今回休養の爲房州に數月を送らるゝ由。

■鈴木とみえ氏　休養中なりし同氏は健康回復せられ、再び東京青年會に働るゝ由。

■午餐會　小石川幹事住宅にて二月十九日海老名夫人、永島博子氏、鶴崎夫人及幹事は午餐を共にし、永島氏より南米の婦人狀態につき有益なる座談ありたり。

【編輯室より】

此號を學校を出んとする若き姉妹方に御送りいたします。青年の多くが必ず逢着しなければならない問題の中、信仰に入る事職業を選ぶ事結婚の問題此三つは最も大なるものであると申ます。之等の事の成功失敗は人の一生を光明と暗黒との二途に分つものであります。之は亦青年女子にとつても、決して成行の儘に任して無頓着に放擲し置かるべき問題ではなくなりました。後二者は前者に依て初めて正しい解決を得らるべきものである事は明であります。私共の生活が世と人とを中心として營むそれであるよりも以上神の前に歩む生活であり度きものです

摘要

△本誌代金は總て前金にて御拂込被下度、前金切れの捺印有之候節は直に御拂込被下度候

△御送金は振替にて拂込まるゝ方便利にて且間違も無之候、但手數料壹錢を御加へ下され度候。

△振替、東京、貳參七貳參番

「女子青年界」定價及廣告料

定價郵税

	一部	一年前金
内地	金十錢	壹圓
海外	金拾三錢	金壹圓四拾錢

廣告料

一回掲載		
一行	金五拾錢	
四分一頁	金五圓	
半頁	九圓	
全頁	金拾五圓	

年極又は回數により割引有

大正九年二月廿六日印刷納本
大正九年三月一日發行

發行所　牛込區市ケ谷田町三ノ十二　日本基督教女子青年會　電話番町四五六三番　振替東京二三七二三番

發行兼編輯人　牛込區市ケ谷田町三ノ十二　河井道子

印刷人　芝區愛宕町出和泉町七番地　前川吉次郎

印刷所　右同所　三成舍

The committee for the campaign entertained the representatives of the Yokohama press at tea on Feb. 16. Eleven men were present from the Japanese press, and representatives from the Japan advertiser and Gazett, as well as Mrs. Peirce of the New York World, who is also writing for the National Board of the Y. W. C. A. in New York, and Mrs. Welsh, a writer for "Asia." It was counted a very successful affair, tho the only gentleman speaker took great exception to our work as being opposed to the ideal of Jadanese womanhood, taking the women out of the home and their place as servers of their husbands, and militating against the idea of good wives ane wise mothers. The objection to women going into the working world reminded us of a similar cry in the west in the past, and we wished to say that whatever one may think of women in the industrial and business world they are there to stay and our association must be there to serve them.

A large meeting at the Memorial Hall on the evening of Feb 21 with Dr. Tomo Inouye, Mr. Takahashi, and Miss Kawai as the speakers, will start the campaign in earnest, and two weeks are allowed for gathering in the numbers. It is the earnest hope of all that it will not be numbers and money only, but will represent real interest and greater opportunity for service.

Miss Agnes Allchin, who has served the Yokohama Association for almost three years, has resigned to return America by the Empress of Russia on March 20. The committee accepted her resignation very regretfully, and expressed their great appreciation of Miss Allchin's cheerful willingness to help in any and all occasions, especially with her generous gift of her musical talents to the Association, and friends. She will be greatly missed, especially by the younger women of the clubs, and her Bible class, where her influence has been especially felt.

OSAKA ASSOCIATION.

The Osaka Association is busily engaged in raising funds for a dormitory and Association Headquarters. So far very encuraging progress has been made in securing subscriptions, and it is hoped that a large part of the necessary funds will soon be secured.

KOBE ASSOCIATION.

A meeting of the women of Kobe under the auspices of the Osaka Mainichi newspaper will be held on February 22nd. The purpose of the gathering is to start a movement for the betterment of the status of women in their homes and social surroundings. At the close of the meeting the women present will be asked to give their opinions of the subjects discussed in writing. In this way the committee expects to arrive at some general idea of the way the women of Kobe stand on the women question. Among the speakers are Mrs. Tsukamoto, of the Kobe YWCA Board, Miss Hisa Onomi, General Secretary of the Kobe YWCA, Mrs. Roy Smith, also of the Kobe Board and Miss Helen Tapping, the foreign secretary of the YWCA in Kobe. Miss Onomi's subject is "Our Aspirations," while Mrs. Smith will speak on "Woman's Right and Duty in Her Home-Life."

The courses are quite short and it will be possible for a class to complete two courses in one year.

The following special outlines are also being offered.

Old Testament—Social Principles of the Prophets.

New testament—Social Teachings of Jesus.

Leaders' class on Fundamentals.

Problems of Faith. This last is specially designed for non-mission girls.

The number of girls who have been active in Student Associations and after graduation are willing and glad to do volunteer work in the city Associations and also other girls of leisure, is gradually increasing and a course of seven lectures has been planned for them preparatory to their volunteer work, particularly as leaders of clubs which it is hoped may be developed in the near future. Miss Kawai spoke the first week on Ohristianity and Social Service, and during February and March will follow talks on the Association, its history, purpose and methods, Club Organization, Girl Psychology, General Conditions of working girls in the city of Tokyo. Concurrent with this will be observation trips to different places in the city where girls are employed, and which will serve as material for a survey of the city. Twelve girls are enrolled.

On Saturday, February 14th, about twenty five girls from the Department of Communications at the Central, Ueno, and Manseibashi stations held a meeting and had supper together at the Association. The two previous meetings that had been held were planned by the secretaries but this one was in the hands of a committee of girls from the different stations who have been coming to the Association for nearly a year, and was presided over by one of their number. Plans were discussed for a club and after the open meeting a foreign supper, prepared by Miss Sakamato with the help of several of the students and the girls in the Leaders' Course, was served for twentyfive sen each.

The Same day ten Christian girls from the Ueno Academy of Music met in the Association under the leadership of the Student secretaries, and Miss Dunning gave a talk. A Bible class is being arranged which will meet each Monday afternoon at the Association.

On Sunday February 15th a religious meeting was held which was followed by a farewell to the Student secretary, Miss Yuri Watanabe who sails very soon for America for a year of special study in girls' work.

YOKOHAMA ASSOCIATION.

The work, or rather the play, of the new year began with a party held in the Y. M. C. A. on Jan. 17 for those who took part in the pageant in December. This was followed by a New Year's party in our own rooms on the 26th, in both cases the program being Japanese entertaining, and altogether very amusing, closing with tea and cake, and a Social good time. At the New Year's meeting, a large number of the growing night school were present.

As this number of the magazine goes to prsss, the Yokohama Association is entering upon a membership campaign, the aim of which is 500 additions to our present membership of 270. Everything is carefully planned and ought to go smoothly, but is going to take energy and faithful work on the part of the 32 main workers, as well as the whole membership. The first 250 will come easily, as many are interested and only waiting to be asked, the last half will be harder. There has been a splendid faith on the part of the committee who would not set it at less than 500. Knowing the membership of other association, also makes the Yokohama Association keener to bring the membership up to somewhere near the number it ought to be in so large a city as Yokohama, where the work has been organized over three years.

There are four teams. red, yellow, blue and green, and the competition will be very keen and add to the zest of the campain. Some of the teams plan to go out by twos and call on the people whose names we have been gathering for sometime preparatory to this effort. There will be many interesting experiences to relate when the workers come together to report, and eyes will all be on the Fuji San poster which goes up in the front window, and up which four girls will climb toward the summit, marking each day the progress of the several teams.

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KWAI)

Volume 17 March 1920 Number 3.

NATIONAL COMMITTEE.

The last meeting of the National Committee before Miss Kawai leaves for America was held on February 14th. Miss Hoshino was Chosen Chairman of the Summer Conference Committee and the place of the Conference was left to the committee to decide. Three new members of the National Committee were Chosen —Miss Caroline Macdonald, Miss Myrtle Pider and Dr. Rachael Read.

Miss Kawai sails for America on February 5th and will spend two weeks in Honolulu en route. Soon after reaching the United States, she will attend the National Convention of the Y.W.C.A. in Cleveland and then will go to a Conference of National Secretaries in Switzerland—a meeting under the auspices of the World's Y.W.C.A. Later on she will attend the Convention of the British Y.W.C.A· and then will return to Amcrica for the Fall months, before coming back to Japan.

Word has been received the Miss Jane Scott who is comming to Japan to be associated with Miss Kawai in the National Y W C A, is probably comming to Japan on the May Empress.

A new student Association is being organized in the Canadian Methodist School. Eiwa Jo Gakko, in Kofu this month. Miss Adams and Miss Page visited the school on February 23-25 for this purpose.

An interesting gathering was a luncheon party given on February 19th at the new National Residence with Mrs McLean, as hostess. Those present were Mrs Usaki, the wife of the new Methodist Bishop for Japan, Mrs Nagashima, who has lived for many years in south America, Mrs Ebina who has recently returned with her husband from a trip through Europe and the United States, Mrs Oki of Sacramento, California, Miss Kawai, Mrs McLean and Miss Page. The principal subject of discussion was the condition of Japanese people in other countries. Mrs Nagashima told of a community in Brazil where there are 30,000 Japanese people without a school, church or hospital.

TOKYO ASSOCIATION.

Miss C. H. Adams met with the Bible teachers of the Tokyo Association and the volunteer workers entering the Leaders' Course for a week-end conference on January at twenty fourth and twenty fifth. The following were the subjects; How we think about God; How we think about ourselves and the kind of world that we live in; How we think about the future life. There was time given for questions after the lectures and the conference was most successful and helpful. The plan is to have such a conference twice a year in future.

Also under the leadership of Miss Adams with a committee several Bible study courses have been planned for the use of the teachers in the Association.

Beginners' class—Life and teachings of Jesus.
Enquirers' ,, —Discipleship.
Decision Christians—Gospel of John.
Christians—Acts-The beginning of the Early Church.
Christians—Corinthians.

女子青年界第拾七巻第三號（毎月一回一日發行）
大正九年一月廿六日印刷納本　大正九年三月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可

胃腸新藥 タカヂアスターゼ

本邦人に最多數を占むる澱粉質不消化に因する胃腸障害に必要不可缺の藥品こして、多數の醫學者、臨牀家により確認賞用されつゝある本劑は、高峰藥學、工學博士の發見にかゝる強力なる澱粉消化素なり。尙本劑は近時の研究により、獨り澱粉質のみならず、人の膵液中に存在する殆ごすべての消化酵素（蛋白質、脂肪其他の消化酵素）を含有し、而も其消化力は膵液に百倍するこご闡明せらる。

本劑に關する內外醫家の實驗報告書あり、無代贈呈す

類似品多種あり、御購入の際は必ずタカヂアスターゼこ乞御指定。（各地藥舖にあり）

種類、粉末七瓦、十四瓦、廿八瓦、半磅、壹磅、錠劑（〇・一三）參拾錠、百錠、貳百錠、強壯酒八オンス入等あり。

緩和下劑 カスカラ糖衣錠

本品は頗る緩和に腸の蠕動を催進し、小骨盤腔の充血を起す事なく、爽快なる便通を來すを特色こせらる。常習便秘治療劑こして最も聲價ある新藥なり。

不良類似品多種あり御購求の際は必ず三共カスカラ糖衣錠ご指定せられたし。

百錠入、五百錠入、千錠入の三種あり。

三共株式會社

本社　東京日本橋室町

出張所　大阪東區平野橋